



北島 文孝

予算提出のプロセスは

市長

計画を充分議論し
熟度を高め計上している

問 いろいろの施策の変更や重点事項等、又大型事業など、どのようなプロセスを経て、予算提出や、議会に説明しているのか。

答 計画期間に実施できたのが6項目、9項目が一部実施済みで、残り26項目が目標達成に向けて着手中である。

答 部長会でも最終的に結論に至っていない。

答 緊急度、重要度等から優先順に着手している。又本年2月に運営方針を見直し、経営戦略会議や部長会で、必要性や事業計画を充分議論し計画の熟度を高めて予算を計上している。

問 雇用促進住宅の方向性は6月議会までには結論を出すと明言され

答 市営住宅の立替え事業について

その他の質問



▲牛津の市営住宅

諸泉 定次



防災マップでひなん訓練

市長 充実した自主防災組織ができ上がることだ



▲氾濫危険の牛津川

問 防災マップを使ったイメージトレーニングでの防災意識と対策の考えはないか。さらに、避難場所の整備と点検はどうなっているか。

答 地域によって差があり、機能する地区の自主防災組織ができ上がることだと思っている。避難場所は担当部署が、当然管理している。

問 ごみの減量化で、幼稚園、保育園、小学校で家の生ごみを持参させ、堆肥化で花や野菜づくりの考えはないのか。子から親に生ごみの活用を広げていく。食育と環境、ごみ減量化となるが、実施の考えは。

幼児期からごみの循環教育は

答 現在、小学校、中学校では生ごみの堆肥化はやっていない。平成21年度の食育白書にも、食に関心が出てくる子どもの時期に体験学習をさせるのは非常に大事とされ、頑張れるところをやっていききたい。

その他の質問

○平和行政の推進について
○雇用促進住宅の市長の見解について



下村 仁司

農林水産業振興基本計画書 はあるか

市長 全体的な計画書はない

問 平成19年から農政大改革があり、また政権交替となり、農政改革が始まっている。農業所得激減となっている。農業も後継者を育成して3,500haの小城市の大地を守り、小城市に住む市民の住環境・生活環境を守る農林水産関係職員不足により基本計画書も作らず、時代の流れに遅れている。

他市のように国政に併せ、国民に安心を・農業者に希望を・農村に雇用とにぎわいをもたらす農政改革の推進のため、職員数を増やし計画書を作り、明確な指針を示してほしい。

答 人材や適正配置など執行部で協議する。を守る事にベストを尽くす観点からPTAや学校職員・校長と話す場を持ちたいと考える。

子どものヘルメット着用について

問 子どものヘルメット着用は決まりはあるか。

答 中学校は学校安全保健

計画で学校長等の責務としてあるが小学校は自転車通学が無いので保護者に預けられている。道路交通法改正にもあり、法的拘束はないが命



▲交通事故から守るヘルメット着用

富永 正樹



本庁舎移行後、各庁舎の姿は

市長 市民サービスや市民ニーズ等を考慮し検討中

問 三日月本庁舎移行後の芦刈、牛津、小城の既存庁舎の今後の計画はどうなっているか。

答 合併協議会での基本的申し合わせの通り、行政機能としては廃止を原則としながらも、周辺の状況や地理的条件などから選択肢もいろいろあるのではと考え、小城市舎は交流拠点としての機能を充実させ中心市街地の核として、芦刈庁舎はまちづくり交付金事業の拠点形成の中の検討をし、牛津庁舎は、現状の



▲既存庁舎の行く末は？

公共施設の配置状況を踏まえた検討をしながら、市民サービスや市民ニーズ等を考慮して、民間での活用等も含めた庁舎の活用を現在庁内で検討中で、整備し再利用か、新たに整備か、又、解体し更地として利用するのかまだ決定はしていない。

中林梧竹翁顕彰の課題について

問 明治の書聖・中林梧竹翁の「中林梧竹記念館」について①入場料無料化、②梧竹グッズの開発、③書の研究に携わる専門の学芸員の配置、④梧竹研究者・故佐々木盛行氏への「小城市名誉市民称号」の追贈についてどう思うか。

答 ①財政面から無料化は不可能。②グッズは検討に値する。③専門学芸員は今後の課題。④名誉市民云々は返答が難しい。

深川 高志



牛津保育園はなぜ認定こども園になった

教育長 国策が急に変わった



▲牛津保育園

問 保育園の民営化については、現在の牛津保育園運営を継承してくれる運営業者を選定されたが、ここにきて認定こども園で実施するとの報告があったが。

①運営移管業者はなぜ認定こども園に変更したのか。
②それに対する小城市の判断は。

③民営化の選考委員会では認定こども園の協議もされたのか。
④民営化計画されている

他の4保育園も認定こども園で実施するのか。

答 ①県の指導、国の政策の流れ、社会の大きな潮流の中で、3月末に事業者より認定こども園という方向を示された。

②教育委員会、市長部局で議論した結果、最終的には業者の考えを承認することに至った。

③選考委員会では、あくまでも社会福祉法人の設立による認可保育園の継承ということで、認定こども園の協議はされていない。

④公立の幼稚園も含めながら保育園の民営化、形として、単なる保育所移管か認定こども園かを将来を洞察しながら出ていく状況にある。

その他の質問

○一般廃棄物中継センターについて

イノシシ被害防止の今後の具体的な対策は

市長 協議会等々と協議し年次年次の対策を講じる

問 山間山麓地帯の農業振興のスタートラインは、イノシシ対策と、みかん園廃園対策と言っても、過言ではないと思う。そのひとつ、イノシシ被害防止のこれまでの施策と、今後の具体的な対策は。

24基分)ワイヤーメッシュさくの設置1か所。22年度も、電気牧さく購入補助15基分、グレーチング設置補助1か所を計画。今後の対策としては、これまでの状況を踏襲しながら、有害鳥獣広域駆除対策協議会等々と十分な協議をしながら、年次の対策を講じる。又、専門家を含めて、効率的な抜本的対策がとれるかどうか研究する必要がある。

答 イノシシ被害防止対策は、箱わな貸与(20年度34台、21年度71台)電気牧さく購入補助(20年度50基分、21年度

24基分)ワイヤーメッシュさくの設置1か所。22年度も、電気牧さく購入補助15基分、グレーチング設置補助1か所を計画。今後の対策としては、これまでの状況を踏襲しながら、有害鳥獣広域駆除対策協議会等々と十分な協議をしながら、年次の対策を講じる。又、専門家を含めて、効率的な抜本的対策がとれるかどうか研究する必要がある。

ゴミ問題に関して

問 提言書については、検討されたか。

答 以前からゴミの減量化については検討しており、今回の提言の内容も、市民部の中で検討している。

その他の質問

○口蹄疫の対応と対策について



▲防御のワイヤーメッシュ



樋渡 利光

市の防火対策は、 そして消防水利は

市長

消火栓をもって市民の安心、安全を図る

問 今年4月8日
夜中、三日月

町堀江で建物火災
が発生、民家は全
焼し、けが人もで
た。住宅がふえる
中、市は防火に対
しどんな対策を講
じるのか。

答 防火用水を
しっかりと確保
していくこと、市

民の皆さん方に対
する防火の意識をしっ
かりもっていただく、啓発
活動もやっていき、それ
に消防との連携をしっか
りとしていくことと思う。



▲防火水そう

問 防火用水の確保はど
うなっているか。

答 小城市は合併をして
から市の方針として
は消防水利として消火栓
を整備していくことを基
本としている。

本としている。

行政文書の戸別配布
とは

問 戸別配布は前回、区
長会の反対で終つて
いるのでは。

答 昨年から区長連絡協
議会の中で、継続協
議というところで終つてい
ます。

問 戸別配布は住民との
意見交換の場が薄れ、
また区長の報酬が減額さ
れるのではないか。

答 文書の戸別配布とな
れば、文書配布業務
は当然なくなるので、そ
の分は減額となる。

江島佐知子



関係団体の連携強化で高齢者福祉の充実を

市長 安心ネットワークを構築して進める

問 3年間のモデル事業
で安心生活創造事業
に取り組んでいるが、

- ① 現在の進捗状況と課題。
- ② 今後の進め方。
- ③ もれなくカバーできる
ための体制づくりは。
- ④ 継続していくための環
境整備はどうするか。

答 ① 昨年度牛津町で
ニーズ調査を実施、
14名に対して定期的な見
守りをしている。類似の
事業とどう整理していく
かが課題。

- ② 今年度中に小城市、三
日月町、芦刈町について
も調査をし、23年度は全
地区を事業の対象と
して活動をしていく。
- ③ 地域包括センター
を中心としている。い
ろんな団体が入って高
齢者安心ネットワー
クを構築している。
- 情報提供をしながら
連携していきたい。
- ④ 地域の理解が一番、
広報活動にも力を入
れる。財源の確保に



▲放課後児童クラブ

についても協議を進める。

放課後児童クラブは
運営方針を定めて

問 放課後児童クラブの
ニーズは今後ますます
高まるが、安全性の確
保、指導員の資質向上な
ど内容充実のためにもガ
イドラインを定めて運営
に臨むべき。

答 就労支援、子育て支
援は命題。行財政改
革を進めながらもしっか
りした方向性を打ち出し
たい。



合瀬 健一

下水道事業の見直しは

市長 小城処理区は建設せず牛津と三日月に分散

問

下水道エリア内で、認定地区になっ

答

長くても15年位と考

問

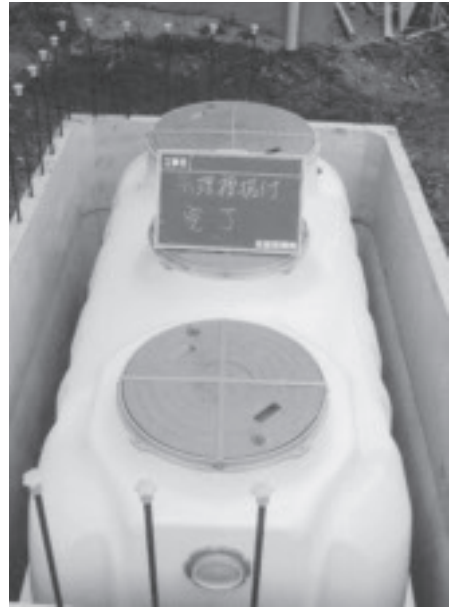
下水道事業の完了予

答

小城市全体で130ha縮小することにな

問

下水道事業のエリアの見直しが求めら



▲合併浄化槽での対応は

ない所に対する対策は

答

水洗化を急がれると

問

エリア外は市町村設置型の合併浄化槽で

答

経済比較の結果で下水道と市町村設置型



樋渡 邦美

芦刈小中学校一貫校の導入目的は

教育長

9カ年のスパンの中で個性を伸ばす

問

芦刈小中学校一貫校計画の取り組みについて4点質問する

①導入の背景と、目的は。

②どのような成果を求めているか。

③芦刈小中学校に導入する理由は。

④他の小城市内の小中学校に対する考えは。



▲小中一貫が予定されている芦刈小学校

答

①現在学校教育の課題として、中学一年生における不登校の増加や学習意欲の低下があり、従来の小中学校の区分のかみ合わせ

本庁舎整備事業の進捗状況について

問

3月に本庁舎にかかる駐車用地を取得したがその後の事業展開の現状は。

答

本庁舎増改築計画に基づき基本計画が3月に完了、8月をめぐりに実施建設の予定。203号線からの進入道路は国道事務所と協議中。県道川上、牛津線からの進入道路は測量に入っている。



岸川 英樹

口蹄疫に対する小城市の 対策は

市長 万が一の発生に備えて、消毒対策を行っている

問 ①発生予防に対する取り組み、消毒対策、市民への対応は、②発生した場合の対応として、殺処分に対する埋却場所の決定、実施方法、③農家の経営再建支援のための取り組みの考えは。

答 小城市口蹄疫対策本部を設置し、消毒液や消石灰の配布を行っている。市民への周知対策として、小城市の広報紙で説明やお願い等の掲載を予定し、風評被害等ないように努める。殺処分に対する埋却場所は、国、県と協議をしながら、県有地、国有地、含めて協議は現在続いております。小城市の家畜農家の支援



答 牛津中学校には砥川小学校から来年1月から提供開始予定。三日月幼稚園と三日月中学校は今年4月から、小城市給食センターより既に提供している。芦刈の給食は小学校建設で改築計画している。当面新規の南部給食センター建設は見合せる。

として、国、県の状況を見きわめながら、必要と考えられる経営支援策を今後検討していく。

南部給食センター建設延期と給食の取り組みは

問 建設の延期の期間と給食の取り組みはどのように考えているのか。

建設の延期の期間と給食の取り組みはどのように考えているのか。

その他の質問

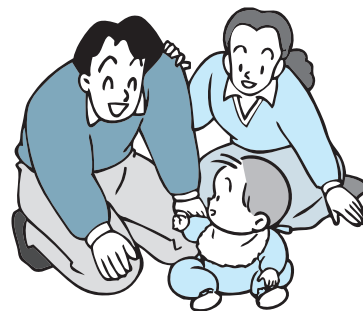
- 水防の考えについて
- 職員管理について



中島 正樹

医療費助成の目標は高く

市長 段階的な検討を進めていく



問 安心して子どもたちを産み育てられる環境づくりという中で示されている乳幼児及び就学前の医療費助成の現状と今後の考え方は。

答 現在、就学前までの医療費の無料化というところで取り組んでいるので今後も継続していきたい。

問 市の取り組みが十分とは言えないと思う。無駄を省き、出て来た予算で対象を拡充する検討は行っているのか。

答 見直し後の事業費は約500億円。処理場ごとに清水処理区は終了しているが6億7,000万円、小城処理区84億円、三日月処理区16.9億円、牛津処理区15.2億円、芦刈処理区51億円。

合併後の事業費は三日月処理区41億円、牛津処理区41億円、芦刈処理区23億円である。

答 現状で終わりは思わない、対象の拡充については段階的な検討はやっていきたいと思う。

下水道事業の見直しは

問 市の下水道事業の見直し後の総事業費と合併後の処理区ごとの費用は。



香月チエミ

肺炎球菌ワクチンの助成をし、医療費削減を

市長 予算確保の手だてを考え、検討している

問 肺炎の治療には1人約25万。ワクチン補助に1人2,000円かけても1000人の発病を抑えられる。

答 市の三大死因は、がん、心臓病、肺炎の順。肺炎球菌による感染の約80%の予防が可能。1回目接種から十分な間隔を確保した上での再接種も可能となった。国、県が法的根拠に基づく予防接種として踏み切るべき。今年度助成の子宮頸がん、ヒブワクチンと共にこの肺炎球菌ワクチンも一緒に検討していた。今後につなげたい。

子ども110番の家、統括システムが必要だ

問 子ども110番の家について、学校と公民館(学校教育課と生涯学習課)との連携は十分か。対応マニュアルの周知、活用は。



▲地域ぐるみで見守りを

答 担当は生涯学習課でそこを中心にとっていく。対応マニュアルは早急に関係者に配布する。

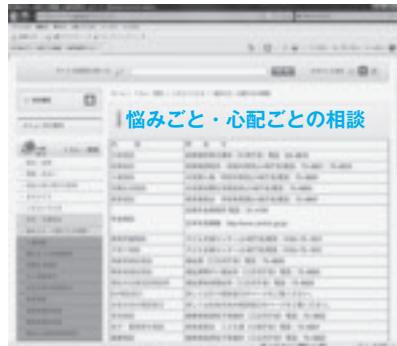
農作業事故の撲滅を

問 全国で毎年400人の死亡事故。国の報告制度の変遷もあるが、国・県の農業用機械整備事業での事故発生の場合、報告の義務づけを採択要件の一つにして、事故の分析や解決につなげては。

答 チラシや免許取得の推進など啓発をする。

市民の悩み・心配ごと相談への市の取り組みは

市長 相談者の立場になってしっかりと対応していく



▲小城市役所ホームページより

問 市役所ホームページの「悩みごと・心配ごとの相談」のサイトについて。

答 相談への対応は、市職員以外にも、行政相談員、人権擁護委員、民生児童委員などの方々にも対応して頂いている。プライバシーの保護については、不十分な点は改善し、向上させていく。また、サイトに関してはその都度、改善を行っていく。

問 子どもたちの通学環境、不審者対策、防犯灯の増設など、安心・安全なまちづくりは。

答 地域、保護者、学校、警察等と、常に新しい情報を共有し、全力

道路整備について

で取り組む。平成21年度の緊急メール配信で10件の声かけ事案が発生した。防犯灯も地元の要望と協議検討していきたい。

問 ①小城市民病院へのアクセス道路の小城郵便局西側付近の拡幅は。②市道三ヶ島く大和線の歩道(自転車道)の設置は。③市を南北に結ぶ道路は。

答 ①現在、計画はないが、地元の合意等の状況判断を要する。

②県道への昇格準備を進めているが、橋の危険箇所は対処も検討する。③重要性は認識。既存道路の改良の要望を県へ要請し続けている。

その他の質問

○現在の小城市の施設のバリアフリーについて

西 正博



大坪 徳廣

小城市の 口蹄疫対応について

市長

関係市町、国、県と協議し迅速に対応する

問 原因究明と具体策について。

答 原因究明については国も調査している。我々地方自治体としてまずその対応を早急にどうするか。口蹄疫が県内で発生した場合、関係市町、県、国と協議しながら迅速に対応し蔓延を防止していく。

答 JAのほうから仮渡金がされている。県も繁殖農家を対象に運転資金を支援する発表があっている。県の融資の状況、今後の口蹄疫の発生状況を見ながら、県で措置された分、国で措置された分に不足する分があれば当然、市としても今後検討をしていく必要があると思う。

問 5月下旬より口蹄疫問題で競りが中断されて小城市にも多かれ少なかれ影響を及ぼしているのは事実であり、県は独自の経済支援策を検討されている。小城市としての畜産農家(牛・豚)支援策の考えは。



▲大事な家畜を守ろう

堤 克彦

市民病院の民間への売却は

市長 目標達成に努力、考えていない



▲期待される市民病院

問 病院経営の現状と見通しについて。

答 前年度と比較し、1億7,100万円と増収し、少しずつ経営状況は、好転。入院患者で1,482人、外来患者数で230人の増で収益は、前年度を上回っている。

答 市民の健康保持、医療水準の向上など、安定的、継続的に提供していく。

問 医師と看護師との分担・連携は。

問 決算では平成13年度より欠損を生じている。19年度は医師不足で大幅な赤字、20年度にお

答 医師、看護師のほうから院内のいろいろな環境改善、いろんな意見などあれば、幹部会、運営委員会へ報告、院内の共通課題として取り組んでいる。

問 市民病院の役割は。

答 病院の経営は、厳しい状況である。一般会計からの繰出金は、赤字補てんとは違う。いても医師不足により午後休診、入院患者の制限など、こういった現状のもと、一般会計からの繰出しは。



松尾 義幸

アイル、オール5になる可能性はあるか

市長 源泉から浴槽までの配管改良でなれると思う

問 日本一の温泉
目指し日本温
泉協会のオール5
の基準を確保する
こと。全国で、市
町村が所有してい
る温泉でオール5
はあるか。全国で
オール5の施設
(民間を含む)はい
くらあるか。



▲アイルの天然温泉表示

答 ①平成15年4月に
オープンし、16年度
24万1千人。21年度18万
6千人。②アイルの入口
にある一町画の田んぼに
四季折々の花を植えて集
客増を見込む。サウナを
浴室内に設置する準備を
すすめている。③だれで
も楽しめる魅力あるアイ
ルをひとつの大き
なテーマとしてい
く。

問 ①アイルの入館者の
状況は。②今年度取
り組む施設改善や環境整
備は。③これから取り組
む最重点施策は。

答 公営施設でオール5
はありません。全国
でオール5の評価の温泉
は16施設です。

問 アイルがオール5に
なる可能性について
の市長の認識は。

答 引き湯のことで源泉
から浴槽までの配管
等を改良すればオール5
になると思う。

平成22年 第2回小城市議会定例会 (5月31日~6月25日)

会議結果

議案 番号	件 名	付託	結 果
議 第2号	常任委員の辞退について	—	決定(全員賛成)
46	平成22年度小城市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	総	可決(全員賛成)
47	小城市防災会議条例の一部を改正する条例	総	可決(全員賛成)
48	小城市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び小城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	総	可決(全員賛成)
49	小城市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	文	可決(全員賛成)
50	土地改良事業の施行について	産	可決(全員賛成)
51	平成22年度小城市一般会計補正予算(第1号)	総・文・産	可決(全員賛成)
52	平成22年度小城市授産場特別会計補正予算(第1号)	文	可決(全員賛成)
53	平成22年度小城市病院事業会計補正予算(第1号)	文	可決(賛成20:反対1)
54	小城市国民健康保険条例の一部を改正する条例	総	可決(全員賛成)

付託委員会名 総…総務 文…文教厚生 産…産業建設